

神奈川県立 全国高校生理科・科学論文大賞で努力賞を受賞しました！

令和7年12月11日に、文部科学省認定大会の第24回神奈川県立全国高校生理科・科学論文大賞で本校科学部の物理系研究部磁性流体班と生物系研究部ニハイチュウ班が共に努力賞を受賞しました。応募総数54校129件の中から、テーマの独自性と高い学術的価値が評価されました。また、本校が応募した4研究がそろって高いレベルであるとして、団体奨励賞も受賞しました。

第20回 筑波大学「科学の芽賞」で努力賞を受賞しました！

筑波大学主催の文部科学省認定大会「科学の芽賞」に応募し、努力賞を受賞しました。本校科学部の25名がそれぞれの研究である物理系研究部磁性流体班、生物系研究部ニハイチュウ班、生物系研究部サボテン班、地学系研究部マグマ班に分かれて研究論文を書き応募しました。応募総数が昨年度の262件から492件へと大幅に増加している中で受賞することが出来ました。磁性流体班とニハイチュウ班の受賞は4年連続の受賞でした。

プラズマ・核融合学会 第23回高校生シンポジウムで 全国2位 卓越賞を受賞しました！

令和8年1月31日に京都大学吉田キャンパスでプラズマ・核融合学会 第23回高校生シンポジウムが行われました。本校科学部の物理系研究部磁性流体班の大加戸蒼太さん(2年)、前田修吾さん(1年)、八尾龍之介さん(1年)が磁性流体のラビリンスパターンと磁束密度、粘度の関係をテーマに口頭発表とポスター発表を行い、全国2位！卓越賞を受賞しました。



第23回高校生科学技術チャレンジ2025(JSEC) 全国大会で敢闘賞を受賞しました！

日本科学未来館で朝日新聞社・テレビ朝日主催、文部科学省認定大会の第23回高校生科学技術チャレンジ2025(JSEC)が開催されました。本校科学部から、生物系研究部サボテン班の武内美月さん(2年)、小田翔太郎さん(1年)が「植物の器官や組織に見られる規則的な配列はいつ決定されるのか」と、物理系研究部磁性流体班の大加戸蒼太さん(2年)、前田修吾さん(1年)、八尾龍之介さん(1年)が「磁性流体の粘度と磁束密度の関係をラビリンスパターンで解明する」の論文を提出しました。最終審査に残ることはできませんでしたが、サボテン班はそれに準じるレベルだと評価を頂き、敢闘賞を受賞することが出来ました。

第28回化学工学会学生発表会で奨励賞を受賞！

令和8年3月7日にオンライン開催で、化学工学会主催の第28回化学工学会学生発表会があり、本校科学部から物理系研究部磁性流体班の大加戸蒼太さん(2年)、前田修吾さん(1年)、八尾龍之介さん(1年)が「ラビリンスパターンと磁束密度、粘度の関係」について発表し、奨励賞を受賞しました。